



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 安永 上場取引所 東  
 コード番号 7271 URL <https://www.fine-yasunaga.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 北村 直紀 TEL 0595-24-2122  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,170	10.7	507	—	539	—	703	—
2022年3月期第3四半期	21,832	1.0	△154	—	△169	—	△375	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,276百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	58.83	—
2022年3月期第3四半期	△31.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,366	10,183	29.6
2022年3月期	31,659	8,206	25.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,183百万円 2022年3月期 8,206百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	10.2	900	—	900	—	1,330	—	111.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）韓国安永株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	12,938,639株	2022年3月期	12,938,639株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	975,309株	2022年3月期	975,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	11,963,330株	2022年3月期3Q	11,963,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍の規制が緩和され正常化しつつあるものの、他方でウクライナ情勢悪化の影響等による世界的な資源価格の高騰、さらには欧米との金利政策の違いを主因とする為替相場の急激な変動などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、長引く半導体不足の影響などにより、生産数の回復に向けた動きは一進一退で推移しています。

このような企業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高241億70百万円（前年同期比10.7%増加）、営業利益5億7百万円（前年同期は営業損失1億54百万円）、経常利益5億39百万円（前年同期は経常損失1億69百万円）となりました。また、韓国子会社の株式譲渡による関係会社株式売却益3億32百万円を計上したこと等に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億75百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (エンジン部品事業)

半導体不足や中国の都市封鎖の影響等による自動車メーカーの生産調整は、夏以降主に海外メーカーで回復傾向となり、国内外ともに売上は増加しました。利益面では、電力費や材料費の上昇があったものの、売上の増加や固定費の削減等により増益となりました。その結果、売上高169億56百万円（前年同期比13.7%増加）、営業利益3億48百万円（前年同期比262.2%増加）となりました。

#### (機械装置事業)

検査測定装置及びワイヤソーの売上は顧客の設備投資の延期等もあり減少したものの、工作機械は増加しました。利益面では、工作機械の売上増加や固定費の削減等により赤字幅が縮小しました。その結果、売上高37億30百万円（前年同期比12.5%増加）、営業損失1億9百万円（前年同期は営業損失4億24百万円）となりました。

#### (環境機器事業)

エアーポンプの売上は微増となりましたが、ディスプレイシステムは減少しました。利益面では、円安の影響による仕入れ価格の上昇等があったものの、固定費の削減等により増益となりました。その結果、売上高32億82百万円（前年同期比2.8%減少）、営業利益2億31百万円（前年同期比15.7%増加）となりました。

#### (その他の事業)

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高2億1百万円（前年同期比11.3%減少）、営業利益11百万円（前年同期は営業損失51百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ27億7百万円（前連結会計年度末比8.6%）増加し、343億66百万円となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ22億75百万円（前連結会計年度末比12.7%）増加し、202億52百万円となりました。

この増加の主な要因は、現金及び預金の増加9億76百万円、受取手形及び売掛金の増加5億31百万円や原材料及び貯蔵品の増加3億81百万円等によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円（前連結会計年度末比3.2%）増加し、141億14百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加3億8百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ11億26百万円（前連結会計年度末比7.0%）増加し、171億43百万円となりました。

この増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加6億38百万円や短期借入金の増加3億円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円（前連結会計年度末比5.3%）減少し、70億39百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少3億96百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ19億77百万円（前連結会計年度末比24.1%）増加し、101億83百万円となりました。

この増加の主な要因は、為替換算調整勘定の増加13億58百万円や利益剰余金の増加5億71百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年12月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,526	5,502
受取手形及び売掛金	4,695	5,226
電子記録債権	878	978
商品及び製品	2,531	2,607
仕掛品	2,261	2,559
原材料及び貯蔵品	1,960	2,341
未収入金	335	332
その他	788	703
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,976	20,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,849	11,855
減価償却累計額	△7,949	△7,875
建物及び構築物（純額）	3,899	3,980
機械装置及び運搬具	30,136	30,822
減価償却累計額	△25,107	△26,082
機械装置及び運搬具（純額）	5,028	4,739
工具、器具及び備品	5,423	4,953
減価償却累計額	△4,995	△4,621
工具、器具及び備品（純額）	427	331
リース資産	267	360
減価償却累計額	△168	△198
リース資産（純額）	98	162
使用権資産	108	150
減価償却累計額	△40	△74
使用権資産（純額）	67	75
土地	2,256	2,319
建設仮勘定	727	1,207
有形固定資産合計	12,506	12,815
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	613	712
退職給付に係る資産	86	160
繰延税金資産	32	31
その他	302	279
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,030	1,181
固定資産合計	13,682	14,114
資産合計	31,659	34,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	3,801
電子記録債務	626	696
短期借入金	6,100	6,400
1年内返済予定の長期借入金	3,048	2,940
未払金	2,034	2,031
リース債務	40	41
リース負債	23	25
未払法人税等	38	56
賞与引当金	350	373
工事損失引当金	51	48
設備関係支払手形	2	0
その他	535	727
流動負債合計	16,016	17,143
固定負債		
長期借入金	6,111	5,714
長期末払金	151	122
リース債務	190	158
リース負債	48	52
繰延税金負債	351	387
役員退職慰労引当金	52	56
退職給付に係る負債	455	472
資産除去債務	74	74
固定負債合計	7,435	7,039
負債合計	23,452	24,182
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	3,989	4,560
自己株式	△330	△330
株主資本合計	7,915	8,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	259
繰延ヘッジ損益	△18	△0
為替換算調整勘定	△65	1,293
退職給付に係る調整累計額	164	143
その他の包括利益累計額合計	290	1,696
非支配株主持分	0	0
純資産合計	8,206	10,183
負債純資産合計	31,659	34,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,832	24,170
売上原価	19,455	21,011
売上総利益	2,377	3,159
販売費及び一般管理費	2,531	2,652
営業利益又は営業損失(△)	△154	507
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	11	13
為替差益	—	109
受取賃貸料	13	22
スクラップ売却益	20	5
その他	23	24
営業外収益合計	81	188
営業外費用		
支払利息	60	73
為替差損	4	—
減価償却費	15	13
棚卸資産廃棄損	—	31
その他	16	38
営業外費用合計	96	156
経常利益又は経常損失(△)	△169	539
特別利益		
固定資産売却益	0	5
関係会社株式売却益	—	332
特別利益合計	0	337
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
和解金	26	—
特別損失合計	26	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△195	875
法人税、住民税及び事業税	89	179
法人税等調整額	90	△7
法人税等合計	180	171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△375	703
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△375	703



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△375	703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	49
繰延ヘッジ損益	94	17
為替換算調整勘定	351	1,526
退職給付に係る調整額	6	△20
その他の包括利益合計	446	1,573
四半期包括利益	70	2,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70	2,276
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,910	3,317	3,378	21,606	226	21,832	—	21,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	120	—	120	353	473	△473	—
計	14,910	3,437	3,378	21,726	579	22,306	△473	21,832
セグメント利益又は損失(△)	96	△424	200	△127	△51	△179	25	△154

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額25百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,956	3,730	3,282	23,969	201	24,170	—	24,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	326	—	326	367	694	△694	—
計	16,956	4,056	3,282	24,295	569	24,864	△694	24,170
セグメント利益又は損失(△)	348	△109	231	470	11	481	25	507

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額25百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。